

「ゲノム医療実現バイオバンク利活用プログラム
(ゲノム医療実現推進プラットフォーム・先端ゲノム研究開発)」
研究開発課題 中間評価結果

研究開発課題名	次世代ゲノミクス研究による乾癬の疾患病態解明・個別化医療・創薬
代表機関名	大阪大学
研究開発代表者名	岡田 随象
全研究開発期間	令和2年度 ～ 令和6年度（予定）

【評価コメント】

多くの乾癬のゲノム/臨床情報を収集し、ロング・ショートリード併用 WGS による乾癬ゲノム層別化解析、横断的オミックス解析による乾癬の細胞組織特異性と疾患病態解明を進めており、成果が出始めている。また、深層学習に基づく HLA imputation 法を開発し、乾癬の個別化医療への反映を試みている点、開発したツールを Github で公開することで波及効果が期待できる点、数多くの論文を発表している点など、高く評価される。

今後、ロングリードシーケンスについて着実に進めていただくとともに、乾癬の疾患病態解明、ゲノム個別化医療の実装、新規創薬に向けて、社会実装を意識して具体的な道筋をつけながら進めていただくことを期待する。

以上